

銘柄分析レポート：イメージの悪い会社

1 はじめに

米フィデリティ社で長年にわたって「マゼラン・ファンド」の運用に携わり、天才ファンドマネジャーとうたわれたピーター・リンチ氏は著書『ピーター・リンチの株で勝つ』にて「投資対象の選定に当たって最も重要な12項目」をあげています。

その中で、個人的に興味をひかれたのが次の6項目です。

- (1) 面白くない、または、ばかげている社名
- (2) 変わりばえのしない業容
- (3) 感心しない業種
- (4) 悪い噂の出ている会社
- (5) 気の滅入る会社
- (6) 無成長産業である

これらを一言にまとめれば「イメージの悪い会社を買え」と言っているようなものです。現に我が国においても、これらに該当する会社は株価が割安のまま放置されていることが珍しくありません。直近の業績が優れなければ、なおさらです。

今回の銘柄分析レポートでは、ピーター・リンチ氏のアドバイスに基づき、割安な会社を探してみました。



初心者時代に読んだ株本のうちで、もっとも印象に残っている一冊です。